

シンボルロードのコンセプト及び整備・活用方針（案）

朝霞市基地跡地
利用計画書
(平成 27 年 12 月)

【基地跡地利用の基本コンセプト】
周辺の公共施設と連携し、緑に囲まれた
“次の朝霞”のための“憩いと交流の拠点”

朝霞市基地跡地公園・シンボル
ロード
整備基本計画
(平成 22 年 4 月)

【公園・シンボルロードのコンセプト】
あさかの森をつくる

遊び・学び・癒される・憩いの森
人と自然環境が共存する森
市民が守り育てる森

シンボルロードの活用ニーズ

活用ニーズを踏まえた 整備・活用の考え方

① 日常利用

- ・自転車、歩行者通行帯の確保
- ・現在の樹林を活かした散策路の整備
- ・コミュニケーションが生まれる滞留空間の創出
- ・市民参加による緑の管理

② 定期的なイベント利用

- ・ストリートライブ、アート等の舞台の創出
- ・様々な「市」を開催できる空間の確保
- ・市民のアイデアで活用できる空間と仕組みづくり

③ 彩夏祭における利用

- ・よさこいの観覧席を設ける空間の確保
- ・出場団体の待機場所となる空間の確保
- ・出展ブースや休憩スペースとして利用できる空間の確保

【シンボルロードのコンセプト（案）】

森と人とまちを結ぶ ふれあいのコミチ

整備・活用方針（案）

人々が出会い、憩う森のコミチをつくります

<利用イメージ>

- ・通行、散策、ジョギング
- ・休憩（休憩、会話、飲食）
- ・動植物の鑑賞・観察
- ・樹林や花壇の管理

<空間イメージ>

- ・自転車通行帯、歩行空間の整備
- ・木立の中をゆったり歩く空間
- ・林内散策路
- ・滞留空間（ベンチ、花壇）

まちの魅力を市民と育てる舞台をつくります

<利用イメージ>

- ・音楽、アート等のパフォーマンス、イベント
- ・朝市や、キッチンカー・軽トラを使った飲食・物販の提供

<空間イメージ>

- ・イベントを開催できる広場
- ・休憩やミニステージに活用できるデッキ、滞留空間
- ・可動式のテーブル、ベンチ、テント

彩夏祭を盛り上げるハレの場をつくります

<利用イメージ>

- ・よさこいの演舞、観覧、出場者の待機・休憩
- ・市民・団体の出展、休憩

<空間イメージ>

- ・公園通りに沿った観覧席
- ・仮設ステージ、仮設テント等を設置できる広場